

<u>標準化を推進する際の阻害要因と、その解決方法</u>													
例として、射出成形機の成形調整プロセスの標準化													
推進について検討する。													
<u>1. 阻害要因</u>													
阻害要因は、ノウハウの形式知化が困難であったからである。													
具体的には、射出成形機の成形調整プロセスは成形不具合と成形条件の因果関係はノウハウである。多数のパラメータが関連するため言語化できず暗黙知として埋もれていた。このため標準化が阻害されていた。													
<u>2. 解決策</u>													
解決策として、機械学習を活用して成形技術者のノウハウと暗黙知をデータ化し標準化プロセスを構築する。具体的には、													
① 教師データとして良・不良の成形品と成形条件の組み合わせデータを用意する。													
② 機械学習を用い多数のパラメータの因果関係を表現できるモデルを構築する。													
③ 成形品の情報と成形条件および環境条件をカメラやセンサー等で入手し学習済モデルを通すことで成形条件の推奨値がアウトプットされる。													
以上の方法により属人的ノウハウであった成形技術を誰もが扱える技術として標準化することが可能である。													
以上													